



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月3日

上場会社名 株式会社 十六銀行  
 コード番号 8356 URL <http://www.iuroku.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役頭取  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 名

(氏名) 堀江 博海  
 (氏名) 名知 清仁  
 特定取引勘定設置の有無 無  
 TEL 058-265-2111

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	30,893	△1.0	3,461	△2.8	3,669	8.8
24年3月期第1四半期	31,219	5.2	3,562	△22.2	3,373	40.0

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 1,816百万円 (△77.3%) 24年3月期第1四半期 8,000百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	9.82	9.56
24年3月期第1四半期	9.03	6.85

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	5,490,998	273,345	4.2
24年3月期	5,488,038	282,843	4.2

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 230,541百万円 24年3月期 230,443百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で除して算出しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.50	—	3.50	7.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	3.50	—	3.50	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	56,500	△17.3	5,700	△60.1	17,100	85.6	45.75
通期	111,000	△13.5	11,000	△53.4	20,700	73.4	55.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】P.2「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	379,241,348 株	24年3月期	379,241,348 株
25年3月期1Q	5,494,554 株	24年3月期	5,490,087 株
25年3月期1Q	373,748,255 株	24年3月期1Q	373,775,217 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
・会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) 企業結合等関係に関する注記	7
4. 補足情報	9
(1) 損益状況【単体】	9
(2) 「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」 【単体】【十六銀行(岐阜銀行統合ベース)】	10
(3) 時価のある有価証券の評価差額【単体】	11
(4) 預金等(譲渡性預金を含む)、貸出金の残高 【単体】【十六銀行(岐阜銀行統合ベース)】	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、震災復興需要、エコカー補助金復活などによる国内需要の増加から、回復過程をたどりましたが、スペインやギリシャなど欧州債務危機に伴う世界経済の低迷や円高、株安から、先行きへの不安が広がりました。

当行の主要な営業基盤である岐阜・愛知両県におきましても、主要産業である自動車関連での生産が増加しましたが、今後については、円高や世界経済低迷に伴う輸出への影響が懸念されます。

このような環境下、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、次のとおりとなりました。

経常収益は、国債等債券売却益が増加したものの、貸出金利息および有価証券利息配当金が減少したことなどから、前年同期比3億26百万円減少し308億93百万円となりました。経常費用は、預金利息が減少したことなどから、前年同期比2億25百万円減少し274億32百万円となりました。この結果、経常利益は前年同期比1億1百万円減少し34億61百万円となりましたものの、四半期純利益は負ののれん発生益の計上により特別利益が増加したことなどから、前年同期比2億96百万円増加し36億69百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

預金等（譲渡性預金を含む）につきましては、低コストかつ長期安定的な資金を調達するとの観点から、地域に密着した積極的な営業展開を行い、個人、法人を中心に増強をはかりました。この結果、当第1四半期連結会計期間末の預金等残高は、前連結会計年度末比578億36百万円増加し4兆9,472億59百万円となりました。

貸出金につきましては、地元企業の資金需要や住宅ローンを中心とする個人向け融資に積極的にお応えするとともに、地方公共団体向け融資の取扱いに努めました。この結果、当第1四半期連結会計期間末の貸出金残高は、前連結会計年度末比166億14百万円減少し3兆7,055億30百万円となりました。

有価証券につきましては、国債、地方債等の引受、購入のほか、相場環境を注視しつつ、資金の効率的運用のための債券等の売買を行いました。この結果、当第1四半期連結会計期間末の有価証券残高は、前連結会計年度末比711億98百万円減少し1兆3,875億63百万円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月14日に公表した業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### ・会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当行及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した一部の有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ1百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	129,095	160,116
コールローン及び買入手形	—	62,000
商品有価証券	1,718	1,313
金銭の信託	10,620	10,585
有価証券	1,458,761	1,387,563
貸出金	3,722,144	3,705,530
外国為替	4,814	6,352
リース債権及びリース投資資産	40,838	40,052
その他資産	51,617	48,353
有形固定資産	67,568	67,418
無形固定資産	11,375	11,210
繰延税金資産	4,981	6,788
支払承諾見返	27,436	27,224
貸倒引当金	△42,935	△43,511
資産の部合計	5,488,038	5,490,998
<b>負債の部</b>		
預金	4,881,023	4,920,911
譲渡性預金	8,400	26,348
コールマネー及び売渡手形	50,000	793
債券貸借取引受入担保金	63,925	48,114
借入金	82,988	101,458
外国為替	841	474
社債	15,000	15,000
その他負債	49,941	53,322
賞与引当金	1,815	79
役員賞与引当金	74	—
退職給付引当金	11,706	11,879
役員退職慰労引当金	430	369
睡眠預金払戻損失引当金	333	261
偶発損失引当金	1,296	1,423
繰延税金負債	1,228	1,239
再評価に係る繰延税金負債	8,752	8,752
支払承諾	27,436	27,224
負債の部合計	5,205,195	5,217,653

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
資本金	36,839	36,839
資本剰余金	27,817	27,817
利益剰余金	128,185	130,546
自己株式	△1,508	△1,509
株主資本合計	191,333	193,693
其他有価証券評価差額金	25,377	23,115
土地再評価差額金	13,732	13,732
その他の包括利益累計額合計	39,109	36,847
少数株主持分	52,400	42,804
純資産の部合計	282,843	273,345
負債及び純資産の部合計	5,488,038	5,490,998

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
経常収益	31,219	30,893
資金運用収益	19,909	18,820
(うち貸出金利息)	14,973	14,295
(うち有価証券利息配当金)	4,835	4,456
役務取引等収益	3,880	3,847
その他業務収益	6,185	6,645
その他経常収益	1,244	1,579
経常費用	27,657	27,432
資金調達費用	2,239	1,662
(うち預金利息)	1,837	1,340
役務取引等費用	1,440	1,416
その他業務費用	4,774	5,072
営業経費	16,429	16,340
その他経常費用	2,772	2,940
経常利益	3,562	3,461
特別利益	1,061	1,542
負ののれん発生益	1,061	1,542
特別損失	75	10
固定資産処分損	7	10
減損損失	67	0
税金等調整前四半期純利益	4,548	4,993
法人税、住民税及び事業税	433	1,448
法人税等調整額	300	△581
法人税等合計	733	867
少数株主損益調整前四半期純利益	3,815	4,125
少数株主利益	441	456
四半期純利益	3,373	3,669

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,815	4,125
その他の包括利益	4,185	△2,309
その他有価証券評価差額金	4,185	△2,309
四半期包括利益	8,000	1,816
親会社株主に係る四半期包括利益	7,579	1,407
少数株主に係る四半期包括利益	420	409



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 企業結合等関係に関する注記

共通支配下の取引等

1 連結子会社による自己株式の取得

当行の連結子会社である株式会社岐阜銀行は、平成24年5月10日付で、同行が発行する第5種優先株式の一部を取得いたしました。なお、取得した自己株式については、同日付で、消却しております。

(1) 取引の概要

① 結合当事企業の名称及びその事業の内容

結合当事企業の名称	株式会社岐阜銀行
事業の内容	銀行業

② 企業結合日

平成24年5月10日

③ 企業結合の法的形式

少数株主からの株式買取

④ 結合後企業の名称

名称に変更はありません。

⑤ その他取引の概要に関する事項

資本効率の向上および資本調達コストの低減を目的に、少数株主が保有する株式を取得したものであります。

(2) 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号平成20年12月26日)に基づき、少数株主との取引として処理しております。

(3) 子会社株式の追加取得に関する事項

① 取得原価及びその内訳

取得の対価	現金預け金	6,999百万円
取得原価		6,999百万円

② 発生した負ののれん発生益の金額及び発生原因

(イ) 発生した負ののれん発生益の金額

777百万円

(ロ) 発生原因

少数株主から取得した子会社株式の取得原価が少数株主持分の減少額を下回ったことによるものであります。

2 当行による子会社株式の追加取得

当行は、平成24年5月28日付で、連結子会社である十六リース株式会社の普通株式を追加取得いたしました。

(1) 取引の概要

① 結合当事企業の名称及びその事業の内容

結合当事企業の名称	十六リース株式会社
事業の内容	リース業

② 企業結合日

平成24年5月28日

③ 企業結合の法的形式

少数株主からの株式買取

④ 結合後企業の名称

名称に変更はありません。

⑤ その他取引の概要に関する事項

資本構成見直しによるガバナンスの強化を目的に、少数株主が保有する株式を買取したものであります。

(2) 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号平成20年12月26日)に基づき、少数株主との取引として処理しております。

(3) 子会社株式の追加取得に関する事項

① 取得原価及びその内訳

取得の対価	現金預け金	1,120百万円
取得原価		1,120百万円

② 発生した負ののれん発生益の金額及び発生原因

(イ) 発生した負ののれん発生益の金額

765百万円

(ロ) 発生原因

少数株主から取得した子会社株式の取得原価が少数株主持分の減少額を下回ったことによるものであります。

4. 補足情報

当行の平成25年3月期第1四半期の概要について、下記のとおりお知らせします。

なお、当行は、平成24年9月に子会社の株式会社岐阜銀行（以下「岐阜銀行」という。）との合併を予定しておりますことから、以下の一部計数においては当行【単体】計数の他に、当行と岐阜銀行の合併を前提とした計数【十六銀行（岐阜銀行統合ベース）】を記載しております。

また、当第1四半期末の自己資本比率（国内基準）については、現在算出中であり、確定次第、開示する予定であります。

(1) 損益状況【単体】

平成25年3月期第1四半期の業績につきましては、コア業務純益は3,819百万円（第2四半期累計期間業績予想値7,700百万円の50%）、経常利益は2,716百万円（第2四半期累計期間業績予想値5,700百万円の48%）となり、概ね業績予想のとおり順調に推移しました。  
また、四半期純利益は2,092百万円（第2四半期累計期間業績予想値18,000百万円の12%）となりました。第2四半期会計期間においては、岐阜銀行との合併に伴う負ののれん発生益の計上および繰延税金資産の計上（税金費用の減少）等を見込みますことから、純利益につきましても概ね業績予想のとおり順調に推移しております。

(単位：百万円)

	平成24年3月期 第1四半期 (A)	平成25年3月期 第1四半期 (B)	増 減 (B-A)	平成24年3月期 実績(12ヵ月)
[ ]内は第2四半期累計期間の業績予想値				
経常収益 [ 40,000 百万円]	21,641	21,323	△ 318	85,954
業務粗利益	17,585	17,590	5	66,445
資金利益	15,334	15,206	△ 128	58,937
役務取引等利益	1,486	1,435	△ 51	6,024
その他業務利益 (うち国債等債券損益(5勘定戻))	764 ( 525)	948 ( 777)	184 ( 252)	1,483 ( 503)
経費	12,952	12,993	41	50,407
一般貸倒引当金繰入額 ①	150	△ 217	△ 367	—
業務純益 [ 8,700 百万円]	4,482	4,815	333	16,037
コア業務純益 (注) [ 7,700 百万円]	4,107	3,819	△ 288	15,534
臨時損益	△ 2,357	△ 2,097	260	375
不良債権処理額 ②	1,096	1,125	29	658
貸倒引当金戻入益 ③	—	—	—	267
償却債権取立益 ④	0	9	9	24
(与信関係費用 (①+②-③-④) )	1,246	897	△ 349	366
株式等関係損益	△ 1,811	△ 1,806	5	909
その他臨時損益	549	825	276	△ 167
経常利益 [ 5,700 百万円]	2,122	2,716	594	16,405
特別損益	△ 74	△ 9	65	△ 278
うち減損損失	67	0	△ 67	238
税引前四半期(当期)純利益	2,047	2,706	659	16,126
四半期(当期)純利益 [ 18,000 百万円]	1,456	2,092	636	8,494

(注) コア業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券損益（5勘定戻）

(2) 「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」

【単体】

金融再生法ベースの開示債権は、23年6月末比3,527百万円増加し126,122百万円となりました。  
また、総与信に占める割合は、23年6月末比0.17ポイント低下し3.72%となりました。

(単位：百万円)

	23年6月末	24年6月末	24年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	20,951	17,712	16,785
危険債権	86,053	92,280	86,392
要管理債権	15,590	16,130	16,161
合計	122,595	126,122	119,339
総与信に占める割合	3.89%	3.72%	3.53%

(注) 1. 平成24年6月末の計数は、6月末基準の自己査定結果に基づき、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しております。

2. 当行は、部分直接償却を実施しておりません。

なお、部分直接償却を実施したと仮定した場合の金融再生法ベースの開示債権は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	23年6月末	24年6月末	24年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	8,077	7,636	7,305
危険債権	86,053	92,280	86,392
要管理債権	15,590	16,130	16,161
合計	109,721	116,046	109,859
総与信に占める割合	3.49%	3.44%	3.26%

【十六銀行（岐阜銀行統合ベース）】

金融再生法ベースの開示債権は、23年6月末比700百万円減少し141,229百万円となりました。  
また、総与信に占める割合は、23年6月末比0.21ポイント低下し3.71%となりました。

(単位：百万円)

	23年6月末	24年6月末	24年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	23,385	19,547	18,402
危険債権	101,015	104,884	98,883
要管理債権	17,528	16,798	17,789
合計	141,929	141,229	135,075
総与信に占める割合	3.92%	3.71%	3.54%

(注) 「岐阜銀行統合ベース」は、当行と岐阜銀行の合算計数であります。

なお、岐阜銀行の計数はパーチェス法による時価評価後のものを用いております。

(3) 時価のある有価証券の評価差額【単体】

その他有価証券の評価差額は、23年6月末比3,835百万円増加し31,502百万円となりました。

(単位：百万円)

	23年6月末				24年6月末				24年3月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	1,107,433	27,667	39,188	11,520	1,148,461	31,502	40,797	9,294	1,198,485	35,676	43,686	8,010
株式	89,106	16,499	21,860	5,360	74,714	10,506	15,565	5,059	84,200	18,580	23,054	4,473
債券	900,285	15,130	15,636	505	980,516	22,660	22,899	238	1,018,981	18,477	18,807	329
その他	118,041	△ 3,962	1,691	5,654	93,230	△ 1,663	2,331	3,995	95,304	△ 1,381	1,824	3,206

(注) 1. 「評価差額」は、期末時点の取得原価（償却原価法適用後、減損処理後）と時価との差額を計上しております。

2. 満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式に係る含み損益は下記のとおりであります。

(単位：百万円)

	23年6月末				24年6月末				24年3月末			
	帳簿価額	評価差額			帳簿価額	評価差額			帳簿価額	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
満期保有目的の債券	48,346	166	427	261	45,186	194	356	161	45,561	153	366	212
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(4) 預金等(譲渡性預金を含む)、貸出金の残高

【単体】

預金等は、23年6月末比184,517百万円増加し4,359,087百万円となりました。  
貸出金は、23年6月末比234,600百万円増加し3,309,238百万円となりました。

(単位：百万円)

	23年6月末	24年6月末	24年3月末
預金等(未残)	4,174,570	4,359,087	4,294,548
うち個人預金	2,803,812	2,908,270	2,833,550
貸出金(未残)	3,074,638	3,309,238	3,304,083
うち消費者ローン	915,897	964,101	949,217

(ご参考) 個人預り資産残高(単体)

(単位：百万円)

	23年6月末	24年6月末	24年3月末
預金等	2,803,812	2,908,270	2,833,550
投資信託	117,364	102,938	109,960
公共債	169,766	148,195	152,327
個人年金保険等	258,814	287,919	283,250
合計	3,349,759	3,447,323	3,379,088

【十六銀行(岐阜銀行統合ベース)】

預金等は、23年6月末比108,869百万円増加し4,976,582百万円となりました。  
貸出金は、23年6月末比185,155百万円増加し3,725,134百万円となりました。

(単位：百万円)

	23年6月末	24年6月末	24年3月末
預金等(未残)	4,867,713	4,976,582	4,916,895
うち個人預金	3,390,153	3,405,560	3,345,935
貸出金(未残)	3,539,979	3,725,134	3,739,756
うち消費者ローン	1,110,612	1,145,143	1,134,202

(注) 「岐阜銀行統合ベース」は、当行と岐阜銀行の合算計数であります。

なお、岐阜銀行の計数はパーチェス法による時価評価後のものを用いております。

(ご参考) 個人預り資産残高(十六銀行(岐阜銀行統合ベース))

(単位：百万円)

	23年6月末	24年6月末	24年3月末
預金等	3,390,153	3,405,560	3,345,935
投資信託	154,724	132,391	141,905
公共債	172,967	150,876	155,091
個人年金保険等	274,542	308,240	302,440
合計	3,992,387	3,997,069	3,945,373